NPO 法人

# てくてく

通信

秋

2018

▼新職員紹介　▼交流会　▼生活を支援すること　▼後援会＆スタッフ募集

〒617-0825　京都府長岡京市一文橋 2 丁目 25 - 26　電話：075-957-5350 / メール：info@tekuteku.jp

2018 年 11 月発行

# とにかく元気に、なんでも挑戦します。

生活支援員

## 山内　啓

てくてくで働こうと思ったのは、ホームの仕事をしながら、雰囲気が自分に合っていると感じたからです。

また、右も左もわからない私を温かく迎えて下さったことも大きかったです。

みなさんの期待に応えられるよう、がんばっていきます。

## 啓さんに聞いてみました色々と

**血液型**
O型

**趣味**
旅行、写真、料理、お菓子作り、食べること、スニーカー集め、自転車、飲食店巡り、買い物など

**好きな季節**
夏

**好きな食べ物**
メロン、スイカ、肉じゃが、とんかつ、チキン南蛮、牛タン、とにかく肉！ チョコミント、お酒。あと甘いもの、超が付くほど甘党です。

**苦手な食べ物**
バナナ、ドライフルーツ、ジャム、納豆、日本酒

**好きなスポーツ**
ソフトボール、バスケ、野球、バドミントン、ボルタリング、サッカー

**好きな映画**
ジブリ、アニメ、ハリーポッター、パイレーツ、その他洋画

**休みの日**
爆睡しているか、カフェにいくか、料理かお菓子作りしている。

**好きな動物**
ねこ

**子どものとき**
消防士か警察官になりたかった

# 山内と高橋のホットLINE　「交流会ってなんですか？」

新人 YAMAUCHI　　先輩 TAKAHASHI

## 初めての交流会の直前

交流会ってどんな感じなんですか？

交流会はメンバーが集まって、やりたいこと話したりそれを実現できるようにしていくイベントかな

どんなイベントがあるんですか？

去年は7月に流しソーメンしたよ
ボランティアさんに声かけたりして

ソーメンいいですね！
ボランティアさんも参加されるんですね。ガイドヘルプとかもあるのに、なんでボランティアなんですか？

ガイヘルだと、決まりが色々あってできないこともあるねん。ボランティアで集まると、仕事とは違うメンバーとの関係性や面白さがあるかなぁ

例えばどんな感じですか？

みんなで集まっておしゃべりしたり
一緒にお酒を飲んだり

今はできてないけど、前まではサイクリングにいったり、料理教室したりとか

なるほど、自由な感じなんですね

今年の交流会、けいちゃん初参加やけど、よろしくね♬

次の交流会はＴシャツ作りですね
楽しみにしています！！

## ぽたろう祭準備交流会の後

Ｔシャツ作り、うまくいきましたね

ぽたろう祭でみんなで着れたらいい感じそう

Ｔシャツ作りもメンバーさん発信なんですか？

そう！　なんとかできた(笑)

ぽたろう祭の意見もいっぱい出てましたね
仮装はディズニーとか駅員さんとか

デザートはみたらし団子・パフェ・大学いもショコラ的な…って意見もあったね

店番したいとか、チケット売りしたいとか、皆さん積極的なんですね♪私がやりたいたこ焼きの模擬店もできてうれしいです♬

## ぽたろう祭の後

仮装、雰囲気ありましたね～

作ったＴシャツもみんな着てくれてよかった～♡

模擬店もみんな積極的♪ぽたろう祭、交流会から始まって、みんなで作り上げるイベントなんですね！

# ■生活を支援すること

## −てくてくの役割−

中根成寿

長年、てくてくの副理事長を務めてくださっている中根成寿先生。
メンバーと直接かかわり、日々の時間を共にしている自分たち支援者とは異なる視点で、
中根先生がこれまで見て来られた「てくてく」についてお話ししていただきました。
※写真は、てくてく 15 年の歩みを少しだけですが振り返ってみました☆

てくてくギャラリー
～15 年の歩み～

家族のことを調べ、考え出して 20 年近くになります。私たちが「家族」という言葉を聞いたときに思い浮かべるような「家族」のイメージは、実はまだ 100 年ほどの歴史しかないことが分かってきています。この家族像のことを「近代家族」といい、近代家族の特徴はいくつかありますが、てくてくが支える「生活」に関係があるのは、主に「働く場所との生活する場所の分離」「ケアの私事化」です。

あっとホームたんぽぽ
（平成 23 年開所）
～平成 23 年　クリスマス会～

職場や学校は、仕事の成果や試験の成績がどうしてもついて回るにもかかわらず、かたちの上では「みんな平等だけれども誰も特別でない」。でも、それはとても疲れることです。

競争が多くて疲れる場所ができてしまったものだから、人々は平等じゃないけれども特別な場所」として家族を今のような形にしました。もちろん、褒められたり怒られたりはしますが、「存在」に対して特別でいさせてくれるから、人は「家族」を作ります。

ただ、社会が成熟していくときに「職場」での活動には評価され「賃金」が支払われるのに対して、「家庭」での活動は「無報酬」が定着してしまったのです。ここに大きなボタンの掛け違いがあります。

あっとホームつばさ
（平成 17 年開所）
～平成 28 年　クリスマス会～

日本の社会は人口減少が始まり、働き手や消費者も減っていきます。職場に余裕がなくなり、家庭からは子どもが減り、高齢者、働く人が増えました。職場と家庭の共栄関係はすでに消えてしまいました。

いろんな所が「ぎくしゃく」していることの多くはこれで説明がつきます。みんなが暴力や貧困から守られる事はとても大事なことだし、お金が回せないからと言って大規模な集団生活を送らされることや外出の自由が制限されるのは悲しいことです。

あっとホームどんぐり
（平成 15 年開所）
～平成 15 年　クリスマス会～

あっとハックいちもんばし
（平成25年事業開始）
～平成30年　ハロウィンっぽく♪～

にこりん（平成15年事業開始）
～平成27年　ボウリング～

あっとホーム翔
（平成17年開所）
～平成30年　町内夏祭り参加～

あっとホームジャンプ
（平成16年開所）
～平成29年　忘年会～

「生活を支援する」ということは「近代家族」がきれいに分けてしまった職場・学校と家庭の「あいだ」に空間と時間をつくりだし、維持し、ひろげることにほかなりません。「てくてく」がつくりだして、維持し、ひろげてきたのはこの「あいだ」の空間と時間です。

障害者福祉の制度は、「人の生活をまとめると安上がりになる」反面、「ひとりひとりの願いや思いを実現しようとすると経営が大変になり、支援する人も悩む」ことが増えてしまいます。
メンバーや家族にとっては安心でわがままが言える環境も、職員や世話人にとってはハラハラして悩むことが多い環境となりえます。
　ただこのことは、私はとても健全で、てくてくが施設や学校とは違う場所であることの証拠であると思っています。

てくてくはメンバーや家族も「お客さん」ではなく「共同経営者」です。そうでなければ、この小さな「あいだ」の組織は大規模化して「ひとりひとりの生活」が失われてしまうか、「ひとりひとり」の思いの強さと多様さに押しつぶされてしまいます。

私のGoogleカレンダーを見ると、冨島邦雄さん(てくてく前理事長)が初めて私の研究室を訪ねてくれたのは2008年の8月6日、とあります。すでに10年以上前のことです。私はもちろん、たくさんの学生がてくてくと出会ってくれたことは本当に不思議なご縁だと感じています。

繰り返しになりますが、「てくてく」は「みんな」の組織だと思います。メンバーや家族を大切にするのはもちろんですが、働くひと、支える人、手伝う人、調べる人、それぞれに違った関わりが必要です。これからもたくさんの人が集う場になるお手伝いを、私は続けていきたいと思います。

～Profile～


中根（なかね）　成寿（なるひさ）先生
京都府立大学　公共政策学部
福祉社会学科　准教授

てくてくとは、2008年から冨島邦雄前理事長からの紹介で理事として関わってくださっています。　中根先生にしかない視点でてくてくをサポートをしてくださっています。

# てくてく後援会

いつも後援会の活動に御協力ありがとうございます。

NPO 法人てくてくは「誰もが住み慣れた地域でいきいきと自分らしく暮らすことのできる街づくり」を目指しています。こうした事業に対し後援会は人的・金銭的なサポートを行うために、共に運動していきます。皆様引き続きご協力ご支援のほど宜しくお願い致します。

又、ぽたろう祭りでは沢山の物品提供、お手伝いありがとうございました。

**個人会員　（1口　１０００円　1口以上）**

**団体会員　（1口　２０００円　1口以上）**

## てくてく『登録スタッフ』募集中！

**障がいのある方々の自立生活を支援するお仕事です。**
**グループホームやショートステイでのおしゃべりや**
**食事･お風呂の介助など…☆彡**
**興味のある方は、ぜひ一度見学に来てください！！**

**【時給】　ヘルパー　1,110 円～（研修中 970 円）**
**世話人　950 円～（研修中　920 円）**

←詳しくはこちら
てくてくリクルートサイトも掲載しています！！

NPO 法人　てくてく

https://www.tekuteku.jp

日頃のてくてくの活動の様子は、ホームページ「みんなのつぶやき」「facebook」にてご覧いただけます